

た規制があり、多くの関係機関への届け出などが必を進める意向を示した。外国人の就労を増やして

りそなホールディングスと三井住友ファイナンシャル

西の系列地方銀行の経営統

合が検討されているのは、りそな系列の近畿大阪

に再編できるが、三井住友系列の2行は東証に上場している。既存の株主から株式を買い取るには多額の費用がかかるため、上場する持ち株会社の株式と交換して2行を傘下に収める。持

東芝事業

IT大手、半導体に関心

1兆円規模の買収合戦も

経営再建中の東芝が進める半導体事業の売却に、世界的なIT大手数社が関心を示していることが21日、

分かかった。実際に入札手続きに参加すれば、すでに名乗りを上げた電子部品大手や投資ファンドも含め、1兆円規模の買収合戦になることが予想される。

売却対象の半導体は、スマートフォンなどの記憶媒体に使われる「フラッシュメモリー」だ。東芝関係者によると「顧客から(買収に向けた提案が数件あった)といい、このメモリーを重要

などを手掛ける東芝医用法人(東京)の全保有株式を、3月31日付でキャノンに売却すると発表した。売却額は約31億円。

石油元売り業界では、工

業者会見し、「(統合や合併によりも)提携の方が意思決定のスピードを高められる」と意義を説明した。

コスモHDは、キグナスの親会社の三愛石油から、4~6月をめどに株式を賣り取る。金額は非公表。キグナスは現在、東燃ゼネラル石油からガソリンの供給を受けているが、準備が整う2020年をめどに提携事

ップルやマイクロソフトが取り沙汰されている。

東芝は、半導体事業の価値を2兆円規模と見込む。分社化後の株式の過半数を放す方針で、売却時期は2017年度中を想定している。入札手続きは24日にも始まる予定だ。できるだけ高値で売り、米原発巡状況を一気に立て直したいと考えた。

三重県四日市市の主力工場に共同で投資する米ハーディスク大手ウエスタン・デジタルのほか、韓国の半導体大手SKハイニックス、シャープを傘下に收め、台湾の鴻海精密工業、欧米系の投資ファンド

石油元売り大手のコスモス(HD)は21日、キグナス石油と資本業務提携したと発表した。キグナスの株式を20%取得し、同社の給油所にガソリンを供給する。販売先を増やして生き残りを目指す。

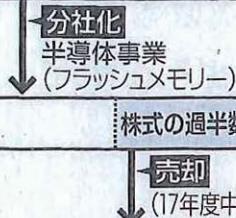
石油元売り業界では、工

業者会見し、「(統合や合併によりも)提携の方が意思決定のスピードを高められる」と意義を説明した。

コスモHDは、キグナスの親会社の三愛石油から、4~6月をめどに株式を賣り取る。金額は非公表。キグナスは現在、東燃ゼネラル石油からガソリンの供給を受けているが、準備が整う2020年をめどに提携事

東芝半導体事業の入りのイメージ

東芝



IT大手?
電子部品大手?
投資ファンド?

1兆円規模の買収合戦

IT大手、電子部品大手、投資ファンド

乗組みで、すでに名乗りを上げた電子部品大手や投資ファンドも含め、1兆円規模の買収合戦になることが示している

ことが予想される。売却対象の半導体は、スマートフォンなどの記憶媒体に使われる「フラッシュメモリー」だ。東芝関係者によると「顧客から(買収に向けた提案が数件あった)といい、このメモリーを重要

部品に位置づけている米ア

メリ」と「顧客から(買収に向けた提案が数件あった)といい、このメモリーを重要

部品に使われる「フラッシュメモリー」だ。東芝関係者によると「顧客から(買収に向けた提案が数件あった)といい、このメモリーを重要

い評価を受けることが

された。

中小規模法人部門が

95%東京都内で開かれ

た発表会ではパネルデ

ィスカッショーンも開か

れた。

法人を選定

経産省が初

健康経営優良

法人を選定

本県は大古精機、スキット

従業員の健康管理を経営の視点から考え、戦略的に実践した330の企業や団体を「健康経営優良法人2017」に初めて選定した。

残業の抑制や精神面のケアなど健康経営に取り組む企業を認定することにより、企業が求職者や取引先、金融機関などから社会的に高く評価を受けることが

できるようにする狙いだ。

330の内訳は大規模法人部門が235、

中小規模法人部門で選ばれた鳥取県倉吉市

の電気設備会社「工ナテクス」の福井利明社長は「健康経営は優秀な人材を確保するこ

とや作業効率の向上につながる。今後も社員に寄り添う職場づくりを続けたい」と話した。同部門に本県から

昨年3月に医療機器学会

式を20%取得し、同社の給

石油元売り大手のコスモス

HDは、キグナスの親会社の三愛石油から、4~6月をめどに株式を賣り取る。金額は非公表。キグナスは現在、東燃ゼネラル石油からガソリンの供給を受けているが、準備が整う2020年をめどに提携事

ドなどが参加に意欲を示している。IT大手が事業の主導権を握った場合、半導体の調達の安定性が増したり、性能面で競合に差をつけたりする効果が期待できる。ただ特定のメーカーによる支配が強まると、これまでの

条件とするなど、社内外の不安にも配慮しながら慎重に進める。

東芝は株を100%売る

ムズ(大田原市)をキャノン

に売却しており、その一環。今回の売却に伴う業績への影響は軽微としている。

供給先の一部が離れるといつた悪影響が出る恐れもある。従業員の雇用維持を

こともあり得ると説明している。従業員の雇用維持を不安にも配慮しながら慎重に進める。

東芝は株を100%売るムズ(大田原市)をキャノンに売却しており、その一環。今回の売却に伴う業績への影響は軽微としている。

社の東芝メディカルシステム

グループが協議している関連会社の東芝メディカルシステムは、りそな系列の近畿大阪

に売却しており、その一環。今回の売却に伴う業績への影響は軽微としている。